



学校だより

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

加小っ子だより

令和6年9月18日 No.18

朝夕は空気がひんやりとし、秋の気配が感じられるようになってきましたが、日中は日差しもきつく、まだまだ暑い日が続いています。

学校では、子どもたちが運動会当日に向けて一生懸命、練習に取り組んでいます。楽しくできることもあれば、難しく楽しくできないこともあります。難しいなと思うことも、毎日チャレンジし、少しずつでも前に進んでいくことで、昨日できなかったことが、今日できるようになるかもしれません。今日はできなかったかもしれないけど、明日できるようになるかもしれません。毎日の練習の積み重ねが、当日の出来栄えにつながります。運動会の練習を通して、一つ一つ丁寧に根気強く取組を積み重ねていくことで、やりぬく力やあきらめない力を身に付けていってほしいと思っています。

学校としては、熱中症への対策を十分とったうえで練習に取り組んでいきます。よろしく願います。

運動会に向けて練習に熱が入ります

運動会のめあてを決めてがんばります（2年生）



毎月 10 日は人権の日です。 友だちを大切に、自分を大切に

加佐登小学校では、「安心して過ごせる学校『今日が楽しく、明日が待たれる学校』」を目指して、毎月 10 日を「人権の日」として、「お互いを尊重し、なかまも自分も大切にする」日とし取り組んでいます。

この日、職員はピンクのものを身に付けて、いじめ反対を訴える「ピンクシャツ運動」にも取り組んでいます。三重県や鈴鹿市では、4月、11 月をいじめ防止強化月間として取り組んでいますが、本校では強化月間だけではなく、毎月ごとに取り組んでいます。

いじめ防止を意識して自らピンクのものを身に付け学校生活を送る児童も見受けられました。子どもたちが、自ら考え、行動してくれていることに頼もしさを感じます。

画像の掲載を
控えさせていただきます。
ご了承ください。

今月は、ダンスや団体競技など、運動会の本番に向かって学年部やクラスみんなで一緒に練習に取り組むことが多くなります。練習を進めていく中で、友だちのいいところが見えてくるとと思います。お互いのいいところを認め合い、前向きにがんばっている姿が見られるとききっと素敵な運動会本番を迎えられると思います。

一日一日の練習の過程を大切にすることで、運動会当日に友だちと一緒に「やり切った！」という気持ちから出るみんなの笑顔を楽しみにしています。

インターネットを正しく使いましょう

9月10日(水)、6年生でインターネット、SNS 講座を実施しました。

1学期には5年生で実施しましたが、ネット利用の機会が増えてくる6年生でも実施することとなりました。6年生では、夏休みにLINEを使ったいじめを題材に親子宿題にも取り組んでもらいました。保護者の皆様、ご協力いただきありがとうございました。

現在ではインターネットの利用は日常生活を送る上で必要不可欠なものとなっています。そのような中で、トラブルに巻き込まれないためにもインターネットの正しい知識と正しい使い方を身に付けることが大事になってきています。SNS では自分の気持ちを文字だけで伝える難しさや個人情報を守ることの大切さについて、講師の先生から教えていただくとともに、自分の気持ちを伝えるためにはどのような手段を取っていけばいいのかについて自分事として考える機会となりました。

インターネットを安全に活用できるように、お子様と話し合ったうえで使用時間や活用方法について各ご家庭でルールを作っていただき活用していただければ幸いです。



<子どもたちの授業後の振り返りから>

- 今回の授業で、相手の顔が分からないから、トラブルになったり知らない間にトラブルに巻き込まれたりするということが分かりました。
- SNS は簡単にメッセージが送信でき、便利なことがいっぱいだけど間違った使い方をしてしまうと悪ふざけでやったつもりのものが後々大変なトラブルになり得ることもあるから正しい使い方を使うようにしないといけない。
- 何かを伝えたいときには、(SNS を使わずに) 直接相手に伝えようと思いました。
- SNS やコメントは悪口を言うところではなく、いいことやみんなに知ってほしいことを書くべきだと思います。現実でもインターネットでもしていいことと悪いことは区別しないといけないんだなと感じました。
- (授業で視聴した)動画もお話も全部自分の身近なもので、あって当たり前だからこそ気を抜かず冷静に判断をしながら、誤解を生んでしまったときにはしっかりと話し合いたいと思います。個人情報の流出も自分自身が気を付けて人を傷つけたり自分自身も傷つけないように SNS の便利さと怖さを知りながら使っていきます。また限度とルールを守りながら使っていきたいです。
- SNS ではすぐに身バレもするし、うそついたこともすぐにばれるということが分かりました。友だちとのやり取りをメールや SNS 上で使用と思ったけど、より一層言葉遣いに気を付けて使おうと思いました。自分が「死ね」とか言われると悲しむのに他の人には書き込めるということもだめだと思いました。
- SNS はすごく便利で自分も使っていたし、ゲームの登校や顔の見えない状態のチャットで会話したりしていたけれど、何も考えずに軽い気持ちで SNS に投稿したり、個人情報に関わることをサラッとやってしまったら、自分も SNS の事故に遭ってしまうのかなと思いました。
- 人によって感じ方が全く違う詩、伝え方などで勘違いをしてしまい、友だちとけんかになって遊ばなくなったしまったりしてしまうのだなと思いました。書き込みをされた人がウソの情報で責められ、仕事をクビになったりしてしまうのかなと思ったのもっと考えて SNS をしようと思いました。

<夏休みの親子宿題 保護者様のコメントから>

- 本人にはすでにスマホを持たせています。LINE グループにも参加していますし、動画を観て胸の痛い思いをしました。かといって、スマホを持たせないというのは難しい。すでに本人の生活に馴染んでいるコミュニケーションツールになっているようです。
どのようなグループに入っているのか、またその中でどのようなやり取りをしているのかは把握していません。嫌な思いをしたり、相手に嫌な思いをさせないのは、対面での友人関係も SNS も同じでしょうが、密室性、匿名性のある SNS では、時に極端な考えを修正できない危険があるなど改めて感じました。
相手の顔を見て、言葉や態度でコミュニケーションを取り、よい人間関係を築いてほしいと感じます。
- SNS は今後生きていく上で必要不可欠なものになってきます。
このような事案は相手に分かりにくいから、相手の痛みも分からない。多数が関わってくるために安心してエスカレートしやすいです。また大事になってから周りが気付き、取り返しのつかないことになることは多いように思います。
他人ごとに思えるけど、SNS を使っている以上、身近にあることだと理解しておかないといけないと感じました。SNS に関して日頃から使う上での注意点を繰り返し確認したり、子どもとの会話に心がけて、変わった様子がないか見守っていきたいと思います。SNS 上での付き合いだけでなく、人との付き合い方としての礼儀やマナーを身に付け、親の私も子どもの見本になるように意識していきたいと思います。
- 動画を一緒に見て、子どもにも大人にも共通する大切な話だと感じました。
どの人にも起こり得る感情や考えではないかなと感じました。その感情や考えをコントロールできるのは本人なので、自分がされたらどうなのか、行動を取っている自分を客観的に見てどうなのかを考えていかなければいけないと思います。一緒になって他人をいじめることはしない、これ変・おかしいなと思ったときに断る勇気を持つ必要があると思いました。自分がされて嫌なことはしないと判断できる人になってほしいと思いました。
- SNS のいじめは表面化しないので本当に陰湿で、それによって命を落とす人がいるので、一人ひとりが自分の行動をよく考えないといけないと思いました。
また、子どもだけのコミュニケーションは双方の誤解を招くこともあるので、言葉が足らなかつたり、軽率なメッセージを送信しないように、送信前によく考えてと日ごろから言っています。万が一トラブルになってしまった場合、身近に相談できる環境が大切だと思いました。
- SNS が発達したことにより、いろいろな面でとても便利になりましたが、簡単に人を傷つけることも可能になってしまったと思っています。大人でも心無いことを記す人もおり、これは簡単な問題ではありませんが、子どもには一つひとつの善悪の判断ができる人になってほしいので、人を傷つけるようなことは決して書き込まない、そして反対につらいことがあった場合にはひとりで抱え込まないことを伝えていきたいです。自分がされて嫌なことはしない、それに尽きると思います。わが子には、それを伝え続けていきたいです。そして我慢せずつらいことがあった場合は、相談すること、それが先生でも親でも友だちでもいいのでひとりで抱え込まないことが大切だと思っています。
- 動画を子どもと一緒に見ることで、この先子どもがどんな立場でどんな経験をしていくのかと普段以上に考えさせられました。今の子どもたちはいじめの手段に SNS を使ってしまいます。SNS の怖さも教えるべきですが、まず人としての在り方を教えたいと思います。思いやりや想像力、一人でも立てる強さが基礎にないと、SNS の怖さだけを教えても脅しにしかならないように感じます。そのうえで SNS の消すことのできない怖さや陰湿さを教えていきたいです。